



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年7月31日

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社  
 コード番号 4531 URL <https://www.yuki-gosei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松井 勝  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員 (氏名) 山戸 康彦  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3664-3980

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,237	10.7	120		95		79	
30年3月期第1四半期	2,504	5.3	44		72		27	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	3.66	
30年3月期第1四半期	1.26	

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	22,012		10,988			49.9
30年3月期	21,468		11,125			51.8

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 10,988百万円 30年3月期 11,125百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				6.00	6.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,100	0.5	100		90		80		3.66
通期	10,500	4.2	150	27.0	130	42.5	50	60.1	2.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	21,974,000 株	30年3月期	21,974,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	146,833 株	30年3月期	146,713 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	21,827,207 株	30年3月期1Q	21,828,043 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や雇用情勢・所得環境の改善が続いており、全般的な企業収益も堅調を維持し景気は比較的安定して推移しました。

化学工業におきましても、設備稼働は引き続き堅調であり、市況は高水準で推移している一方で、米国政府による関税引き上げの行方や原油相場の上昇基調並びに為替動向等、先行きは予断を許さない状況であると思われま

す。  
このような状況下、当社は平成29年3月期を起点とする3ヵ年の中期経営計画を基に、『「世界で存在感のあるファインケミカル創造企業」を目指す～「未来志向のものづくり」に挑戦～』を基本方針に掲げ、重点施策及び各種経営課題への取り組みを行っているところであります。

当第1四半期累計期間の業績状況といたしましては、売上高は前年同四半期比10.7%減の2,237百万円となり、当初の想定通りではあるものの、売上高の減少並びに売上原価率の上昇等に伴い、営業損失は120百万円、経常損失は95百万円、四半期純損失は79百万円となりました。

製品区分ごとの販売の状況は次の通りであります。

(単位：百万円)

製品区分	平成30年3月期第1四半期累計期間				平成31年3月期第1四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	271	557	828	33.1	299	698	998	44.6
化成品関係	718	155	874	34.9	616	125	741	33.2
医薬品関係	623	177	800	32.0	360	136	497	22.2
合計	1,613	890	2,504	100.0	1,276	960	2,237	100.0
構成比(%)	64.4	35.6	100.0		57.1	42.9	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## (アミノ酸関係)

輸出を中心にアミノ酸の販売が好調であったことから、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

## (化成品関係)

国内販売が好調であった前年同四半期と比べ、当期の国内販売は例年並みとなりました。その上、タイヤコーティング剤用原料や船底塗料用原料の輸出販売が低調だったため、売上高は前年同四半期と比べ減少しました。

## (医薬品関係)

新薬及びジェネリック用原薬において、当期間での販売が大きく減少した品目があったため、売上高は前年同四半期に比べ大きく減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

当第1四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、次の通りであります。

(流動資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から98百万円増加し、8,617百万円となりました。これは主に、現金及び預金、製品、仕掛品及び原材料の増加と、受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から445百万円増加し、13,394百万円となりました。これは主に、建物、機械及び装置の増加と建設仮勘定の減少によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から895百万円増加し、6,646百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、短期借入金の増加と、賞与引当金の減少によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から213百万円減少し、4,377百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末から137百万円減少し、10,988百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加と、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における当社の平成31年3月期通期の業績予想につきましては、平成30年5月15日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	964	1,170
受取手形及び売掛金	3,192	2,873
製品	2,644	2,732
仕掛品	544	620
原材料	965	1,041
その他	208	179
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,519	8,617
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,427	2,502
機械及び装置（純額）	1,499	3,558
土地	3,110	3,110
建設仮勘定	3,318	66
その他（純額）	973	1,471
有形固定資産合計	10,329	10,708
無形固定資産	89	83
投資その他の資産		
投資有価証券	2,335	2,441
その他	193	160
投資その他の資産合計	2,529	2,602
固定資産合計	12,949	13,394
資産合計	21,468	22,012
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,242	1,648
電子記録債務	236	276
短期借入金	2,000	2,600
1年内返済予定の長期借入金	579	579
未払法人税等	62	—
賞与引当金	188	71
設備関係電子記録債務	587	977
その他	855	493
流動負債合計	5,751	6,646
固定負債		
長期借入金	2,806	2,581
再評価に係る繰延税金負債	600	600
退職給付引当金	919	937
資産除去債務	14	14
その他	250	244
固定負債合計	4,590	4,377
負債合計	10,342	11,024

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,471	3,471
資本剰余金	3,250	3,250
利益剰余金	3,348	3,137
自己株式	△47	△47
株主資本合計	10,022	9,811
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	935	1,009
繰延ヘッジ損益	—	△0
土地再評価差額金	168	168
評価・換算差額等合計	1,103	1,177
純資産合計	11,125	10,988
負債純資産合計	21,468	22,012

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,504	2,237
売上原価	1,998	1,864
売上総利益	505	372
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	95	100
賞与引当金繰入額	22	17
研究開発費	85	146
その他	257	229
販売費及び一般管理費合計	460	493
営業利益又は営業損失(△)	44	△120
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	38	40
雑収入	4	3
営業外収益合計	43	43
営業外費用		
支払利息	10	13
雑損失	4	4
営業外費用合計	15	17
経常利益又は経常損失(△)	72	△95
特別損失		
固定資産除却損	24	12
特別損失合計	24	12
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	47	△107
法人税等	20	△27
四半期純利益又は四半期純損失(△)	27	△79

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。